

CSRレポート を読む会



2015年1月、首都大学東京の奥 真美教授とそのゼミナール生8名を本社にお招きして初の「CSRレポートを読む会」を開催し、当社社員4名も交えて活発な質疑応答が行われました。「読む会」後は、ショールームで実車の見学会も実施しました。

日時：2015年1月16日（金） 15時～17時
場所：エビススバルビル 12階 スカイテリア
参加者：首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース
奥 真美ゼミナール 学生のみなさん



学生の皆さんは、CSRの中でもとりわけ「安全」と「環境」に対する関心が高く、さまざまな観点から話題が出されました。

安全については、クライシスマネジメント（※）に関連して首都直下地震への対策や、安全運転への取り組みおよび交通事故防止に向けた教育・啓発活動などについて質問がありました。また、「安全性とデザイン」や「安全性と利益」は両立できるか、といった意見も寄せられました。これらの質問や意見を受けて、恵比寿本社における緊急事態に事業を継続するための体制や設備、「0次安全」と呼ばれる基本的な安全性能と実用性を重視する開発方針について説明したほか、小学生への交通安全の取り組みなどを紹介しました。

また、環境の取り組みについては、自動車リサイクルやハイブリット、生物多様性など、学生の皆さんは多岐にわたる環境課題に関心をお持ちでした。これに対して、当社の自動車リサイクルシステムの流れをはじめ、CSRレポートには記載しきれていない事例や現在進行している環境への取り組みについてもお伝えしました。

こうした対話を通じ、学生の皆さんからはCSRに共通した意見として、多様な活動を行っているのに伝わらないのはもったいない、もっと積極的にアピールしてはどうか、という指摘をいただきました。

※ クライシスマネジメント：大規模災害など重大な緊急事態が発生した際に被害を最小限に抑えるための仕組み・活動のこと。





後列左より、経営企画部 平手、環境推進室 斉木、小島さん、酒井さん、松本さん、環境推進室 乗、経営企画部 齊藤
前列左より、志村さん、八嶋さん、奥教授、柳さん、岩瀬さん

「CSRレポートを読む会」を終えて

ステークホルダーの視点から わかりやすい情報発信を期待しています。

このたび「CSRレポートを読む会」にゼミ生とともに参加させていただきました。学生との意見交換を通じて「読み手」の視点や意識を実感いただけたのではないのでしょうか。情報を開示する企業側は十分だと思っても、読み手にとって必ずしも十分ではない、伝わっていないことが少なくありません。今後もステークホルダーとの対話の場を広げて、わかりやすい情報発信に努めていただきたいと思います。



首都大学東京・都市教養学部・都市政策コース長・教授

奥 真美 氏

皆さまのご意見を受けて

CSRレポートは、当社の1年間のCSR活動をまとめた報告書としてだけでなく、ステークホルダーの皆さまから幅広くご意見をいただくためのコミュニケーションツールとして活用していくことも重要であると考えております。

今回は学生の皆さまから貴重なご意見をいただくことができました。その中で、CSRレポートで伝わっていること、伝わっていないことが見えてきました。当社にとって当たり前になっている取り組みも、わかりやすくお伝えすることの必要性を改めて感じました。

今後も皆さまからのご意見やご指摘を真摯に受け止め、CSR活動の改善を図ってまいります。